

'94香港～北京ラリー「三菱ランサーディーラーチーム」派遣メカニック選考会開催

## 飯塚恒守氏(CMSC群馬)メカニックに選ばれる!!

10月22日香港をスタートして28日に北京にゴールする「1994香港～北京ラリー」で、篠塚建次郎選手の「三菱ランサーディーラーチーム」をバックアップする三菱自動車販売協会ギャラン部会では、昨年に引き続き、今年もラリーのサービスマカニックを5名派遣することになり、8月25日から3日間静岡県御殿場市の特設会場で、派遣メカニックの最終選考会を開催しました。

選考会は三菱自動車販売協会ギャラン部会およびラリーアートが主催。全国のギャラン系販売会社130社、約6,500名のメカニックの中から最終選考会に残った全国9地区の19名が参加しました。

「香港～北京ラリー」は過酷なハイスピードラリーであると同時に、サービス隊も含めた参加者全員がラリーとともに長距離を移動する不確定要素の多い特殊なラリーのため、選考会も2泊3日のキャンプ形式で行われました。篠塚選手も昨年同様、審査に加わって、体力審査、メンテナンス技量審査、ドライビング審査、面接審査と厳しい審査が続きま

した。  
今年にはCMSC群馬から、昨年選ばれたCMSC大阪・杉本達也、CMSC島根・岡本春生の両名に続き群馬三菱自動車販売株の飯塚恒守氏が見事選ばれ、その技量を存分に発揮してくれるものと思

います。  
写真上、選考された5名。左より飯塚氏、東京北自・飯島邦彦氏、篠塚建次郎氏、埼玉自・横田文典氏、南大阪自・山尾城司氏、九州自・稲本正道氏。写真左上、体力審査。写真左下、面接審査。写真右、メンテナンス技量審査で奮闘中の飯塚氏。



CMSC群馬  
飯塚恒守

### '94香港～北京メカニック選考会

モータースポーツに興味のある者なら誰しも、海外ラリーは憧れだと思います。私も今回のチャンスに迷うことなく応募させて頂き、何とか最終選考まで残ることができました。

前年、我がCMSC群馬会長荒井信介さんが参加しており、ある程度の厳しさは聞いておりましたが

## 念願の海外ラリー参加

予想を上回るものでした。前年よりも種目が増え、予告なしの深夜の車両整備、英語による事故対応テストなど、心身共にハードなものでした。しかし、CMSCの全国大会等で篠塚選手、ラリーアートの方々などは何度かお目にかかった事があり、多少なりとも気が楽に過ごせました。さらに、全国のCMSCの方々も何名か参加しており心強く思いました。また、前年サービス隊で行かれたCMSC大阪の杉本さん等も選考会に手伝いに来ており、色々な話を聞くことができ大変参考になりました。

今回私は運良くサービス隊に選ばれましたが、同じハードなテストを受け選ばれなかった方々、及び、全国のCMSC会員の代表として、期待に応えられるよう頑張っておこなえばと、今から気を引き締めております。話によりますと、本番ラリーは相当厳しいという事ですので多少の不安はありますが、念願かなって海外ラリーに参加できるのですから、悔いのないように頑張ります。そして、無事帰って吉報をお伝えできれば幸いです。



# CMSC創立30周年!



CMSCが設立されたのが1964年。以来30年。CMSCは日本のモータースポーツの歴史と共に、その普及に貢献しながら歩んできました。今や支部も今年発足した浜松、道北を含めて19支部、部員数も700名を超える数までになりました。

当初、三菱のファクトリーチームとして誕生し、それが全国各地の三菱ファンによって、自然発生的に、ディーラーを中心として次々とクラブを設立。「コルトモータースポーツクラブ」の名を冠してJAFに登録されることにより正式な組織人格を取得いた

しました。アマチュアオリエントドの三菱車によるモータースポーツ活動がここにスタートしたわけです。以来、CMSCはモータースポーツを文化としてとらえ、各メンバーがモータースポーツにいそしみ、情熱をかたむけてクラブの歴史を積み重ねてきました。コルト、ギャラン、ランサー、ミラージュなど我々と歴史を駆けてきた三菱の名車たち、同じ苦労や喜びを共にしてきたメンバーの方達、そして三菱のモータースポーツ活動の拠点ともいべき株式会社ラリーアートが存在。すべての要素が我々

のCMSCを邁進させてきた原動力なのです。

30年を迎えた今年も各地からクラブ員の方々の活躍が聞こえてまいります。日本国内の各種大会の主催や競技会での活躍、さらには海外へ遠征しての競技参加など、今も設立当初の志を胸にさらに発展したかたちで進み続けるCMSC。30周年はまだまだ通過点です。さらに、その活動の輪を広げ、日本のモータースポーツの発展に貢献しつつ、クラブとクラブ員の皆様の発展を目指してまいります。

CMSC群馬 6月26日  
CMSCトリアルン那須

前日まで降っていた雨も上がり、梅雨とは思えないさわやかな空の下、CMSCトリアルン那須はコースクリアの岩田、荒井、登坂、鳥羽、大井の5選手の激走から幕を開けました。日頃はなかなか見ることのできない全日本選手達の走りをエントラント達は皆食い入るように見ていました。その走りに影響されたのか、ゼッケン1番からのフレッシュマンクラスでは、クラッシュや転倒寸前の過激な走りが多く、周りをヒヤッとさせるシーンもありました。

今回のコースは2分前後かかる長いコースで、アクセル全開の箇所あり、テクニカルな箇所ありと変化に富み、なかなか楽しめるコース設定になったと思います。朝のうちはややウェット気味だった路面も徐々にドライになっていき、1分48秒というタイムもたたき出されました。これは2本目が楽しみと

## 群馬のイベントに雨はつきもの

思われましたが、そこはCMSC群馬のイベント、やっぱり雨。昼休みから降りだした雨はどんどん激しくなっていく、結局ほとんどのエントラントがタイムダウンして1本目の記録で勝負が決まってしまう。僅かな時間で勝負がついてしまうダートラ。いかに1本目から集中していけるかにかかってくるだけに、精神力の訓練の必要性を痛感した競技会でした。

さて、成績の方はAIVの織本選手がオーバーオールウィンで三菱賞もさらっていきました。また、AIVはなんと1位から3位まですべてランサーという結果となりました。今回は長いコース設定かつエントリ-156台と台数も多かった割にはスムーズに競技が進み、それほど遅くならずイベントが終了できました。これもひとえにエントラントの方々、オフィシャルの皆さんの協力のおかげです。来年もまた、皆が楽しめるイベントを開催できるよう努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

(CMSC群馬 細村 謙一)



上、三菱賞上位3名の表彰。下、荒井会長によるコースクリア。



# 全日本ダートトライアル選手権 北村和浩選手(CMSC岐阜)第5戦優勝! 今季3勝目。シリーズチャンピオン決定!

'94全日本ダートトライアル選手権第5戦「第15回DCCSダートトライアル」が7月10日(日)栃木県黒磯市の「丸和オートランド那須」で行われました。エントリーは120台。8クラスでそれぞれが覇を競いました。

AIVクラスでは今季すでに2勝をあげて絶好調のCMSC岐阜の北村和浩選手が出場。参加16台中13台のエボリューションIIが優勝を狙いました。

今回は10日(日)ワンデーの戦いとなり、時折強く雨が落ちてくる梅雨型の天候の中、第1ヒートがスタート。CMSC群馬の荒井選手が12番スタートから1分59秒82と、唯一2分台を切りトップにたちました。そして第2ヒート。雨も一時的にあがり、路面は固くしまつてドライと変わらないグリップとなりました。逆転を狙ってのトライもなかなか2分台を切る記録は出ず、荒井選手も2分0秒95と足踏み。しかし、その中で北村選手が果敢なトライ。1分59秒76の好タイムを叩きだし、わずか0秒06差の見事

な逆転劇。「過去にこれ以上考えながら攻めたことはない。苦手な丸和で勝てたことは非常にうれしい。最近、精神的にも安定して、落ち着いた走りができるようになってきた。それにエボリューションIIのセッティングもきまってきたりして乗りやすく相性がぴったりになってきた。これで今季3勝目。このあとも息を抜くことなくトライし続けます。」と喜びのなかにも冷静なコメント。

CMSC勢は、荒井選手が2位。3位に宝田選手が入って、またまた1~3位を独占。しかも、8位までに7人が入るといふ強さでした。

また、第6戦では2位に入り、シリーズチャンピオンを決定しました。



## CMSC大阪 吉村 修

### 全日本ダートトライアル選手権

'94全日本ダートトライアル選手権は4戦まで終了し、わがランサーE V IIはもう一つ自分好みのセッティングができないというあせりの中でしたが、第4戦では3位に入賞し、今回こそ優勝を目指して7月10日丸和オートランド那須に乗り込んだのでした。今回は全日本ダートトライアル選手権では珍しく

## 緊張感がたまらないAIVクラス

予選無しのワンDAYで行われ、いつもと勝手が違いました。1本目、弱ウェットコンディションの中、外周はうまく走れるが、フルターンで今回から入れた強化タイプのセンターゼフの為サイドブレーキが使えず、曲がりきれずに8位。2本目、各車タイムアップする中で、今回の勝負どころとなったフルターンでまたもや曲がれず結局6位となりました。

全日本の超激戦区であるAIVクラスは一瞬のミスも許されません。しかしこの緊張感がたまらない。全日本ダートトライアル選手権も残り3戦。もっと



もっと練習して優勝を目指しがんばります。

## CMSC青森

6月26日、  
7月17日

### ジムカーナシリーズ第2、3戦

## 人気のクローズド部門

'94CMSC青森ジムカーナシリーズ第2、3戦が予定通り開催されました。今年から設けたクローズド部門の参加者も多く、その人気ぶりを窺わせました。

競技の方は慣熟歩行を十分にとり、ミスコースを

少なくし、走行も最初の1本目を練習走行とし、本走行を2本行い、選手からは好評でした。競技終了後の表彰式も、各クラス1位によるシャンペンシャワーを行うなど、最後まで楽しいシリーズ第2、3戦でした。(CMSC青森 鶴ヶ谷 慶市)

## CMSC香川

8月27日、28日

### CMSCダイアスターラリー

今年のCMSC香川のラリーは、F・G地区地方選手権ラリー第5戦として'94CMSCダイアスターラリーを開催しました。参加台数は47台と今年度のF・G地区の平均は上回りましたが、3年前までの60台フルグリッドから比べると淋しい思いです。

さて競技の方は、去年の公約通りSSを4本、約

## 本年の主催イベント無事終了

15km設定しました。結果はBクラスはゼッケン26の竹之内、大仲組のミラージュが、Cクラスはゼッケン44の二野下、梶山組のギャラン(今までは名前の通り3位までだった)が優勝しました。

CMSC香川主催のイベントは今年これで終了しました。来年は10月7、8日に全日本ダートトライアル選手権第8戦'95CMSCダイアスターラリーを予定しています。皆様の御協力を宜しくお願いします。

(CMSC香川 白井 修)





## CMSC千葉 勅使川原 光

### '94ニュージーランドラリー

昨年に続いてアジア・パシフィックラリー選手権の第2戦、WRC第7戦「第24回ニュージーランドラリー」に参加しました。ニュージーランドの北島オークランド市をスタートしてロトルアを折り返しオークランドにゴールする総走行距離1825.13kmで行われるこのラリーは、ニュージーランド特有の牧草地を縫うような高速旋回を中心としたグラベル主体で、ドライバーのテクニックと車の完成度の高さが要求されるラリーです。

第1レグでは、17位、第2レグでは13位そして最終的には総合12位、Nクラス4位という成績をおさめることができました。ラリー中は終始2~4位で競り合っていたのですから、2年目にしてこの成績は十分満足しています。

スポンサーの方々や自費で来てくれたサービス隊の皆さん、そして現地ヘルパーの人達。いろいろな人達に支えられての結果だと感謝しています。本当にありがとうございました。

# WRC総合12位。Nクラス4位。



資金的な問題がクリアできれば、来年はNクラス優勝を狙いたいと思ってます。



## CMSC青森 8月27日、28日

### '94ツールド東北

全国的な猛暑、水不足の中、JMRC東北ラリーシリーズ第4戦「ツールド東北」が開催されました。今年1月22、23日、B.C地区第1戦を終えてから約7ヶ月後のラリー開催でしたが、8年ぶりの夏のラリーでクラブ員も緊張さみ。冬のラリーとは違うコース設定に今までとは違う別な感覚で当たらねばならず、暑さと相まってラリー前に少々疲れさみでした。特にラリーコース（SSコース）の草刈りには3日間延べ24名のクラブ員が、暑さを避け早朝4時からコース整備に汗を流しました。ラリーを成功させようというクラブ員のがんばりと熱意に心から敬

## 早朝のコース整備が報われた大会

意を表したいと思います。

さて東北シリーズ戦ということで参加台数の減少を心配しましたが、予想を上回る46台の参加を得、今回から新たな集合地点となった岩木山総合公園でスタートを待ちました。ラリーはダートSS3本、舗装SS1本を含む約220km、特に舗装SSは約8kmのヒルクライムで参加者に好評でした。今後も出来ればラリーに取り入れたいと思



ます。久々の夏ラリーでオーガナイズもかなり神経を使いましたが大きな事故もなく終えることが出来ました。事前準備から当日まで頑張ってくれたクラブ員の協力と、関係各位のご協力、ご支援のおかげと感

謝しております。今後もクラブ活動の一つとしてラリー開催を続けて行きたいと思っておりますので、ご支援の程よろしくお願い致します。

(CMSC青森 鶴ヶ谷 慶市)

## CMSC島根 8月1日

### チャレンジカップ・ダートトライアル

「古池や 車飛び込む 水の音」

昨年は試走車がいきなり大転倒をし、大爆笑（大悲劇？）のうちにスタートしたCMSC島根チャレンジカップ・ダートトライアルでしたが、今年は前日のコース作りでいきなりランサーが「池ポチャ」でした。この酷暑に耐えかねて車も水浴びしたかったのでしょうか。

大会当日、会場の比田スポーツランド山陰も相変わらずの赤道直下型高温状態。汲み取り式トイレは

## 酷暑に車も水浴び



発酵し、慣熟歩行も千鳥足。オフィシャルもエントラントも頭の上にかげろうを立ち昇らせながらの大会でしたが、平均2分20秒のロングコースを40数台が大きなトラブルもなく暑苦しい、いや熱い闘いを



演じてくれました。大会が終わってみれば、主催者も参加者も南の島の住人のようにこんがり日焼けしていた、'94のダートラでした。

(CMSC島根 古藤 浩美)



## CMSC山形 小川日出生

### 十勝24時間耐久レース参戦記

CMSC山形のメンバーのボランティアとドライバーの自費参加という涙ぐましい努力で計画は実行されました。夏の観光シーズンということでフェリーの予約がなかなかとれず心配しました。エアコンなしの積載車とデリカバンは未知の可能性を求めて猛暑の山形を出発していったのです。予算のない我がチームは宿泊費節約のため直前の現地入りで、早々に到着して専有走行をしているワークスチームのうらめしいこと。しかしCMSCの横断幕をピット入口にかけたとたん、ゴール目標に頑張るぞと誰からともなく気合いが入りました。

北海道とはいえ日中は本土と同じくらいの暑さでしたが、夜間涼しいのがせめてもの救いでした。夕方4時いよいよスタートです。明日の今頃は何かをしているんだろうか、朝を無事迎えられるのだろうか、皆が不安を抱いてのスタートでした。ランサーは快調に1分36秒のペースで周回を重ねていきます。辺りは薄暗くなってきました。ピット前を走るランサーのフロントホイールが真っ赤になっています。ディスクが異様に熱を持っているようです。急に不安がよぎります。1時間37分経過、予定の1回目のピットインです。ローターの異常発熱により左ドライブシャフトのブーツが溶けています。我々の想像外の事でした。120周目、2回目のピットインです。今度は右のブーツが駄目です。この2回のピットストップで総合14位から38位まで順位を落としてしまい、大変ショックでした。しかし、その後はペースを随分落としましたがスムーズに走り続けました。ドライバーにとってはアクセルを踏みたくても踏めないのですから随分走りにくかったと思いますが、これも完走の為とおさえての走行です。

## CMSC埼玉 長井一敏

### '94香港～北京メカニック選考会

8月25～27日の3日間、静岡県御殿場の特設会場にて'94香港～北京ラリードライバーチームの2次選考会が行われました。私は昨年も応募しましたが見事に1次選考で落とされてしまいました。今年が2度目の挑戦となりましたが、無事に2次選考会に参加することが出来ました。全国からの応募者から選ばれたのはわずかに19名。さらに5名に上るといって非常に厳しい状況となりました。

当日会場に着くと、すでに他の参加者は到着していました。後で考えるとこれも評価の中に入っていたのかな？着くと間もなく全員集合、2泊3日の野宿用のテントを張り、休む間もなく選考会は始まり、3班に分かれそれぞれのメニューを消化していきました。初日は個人面接、車両説明、オリエンテーリングでした。オリエンテーリングは速い者の方が上

# 結果は努力についてくる

日付がちょうど変わる頃また突然トラブルが発生しました。走行中ガソリンがなくなりました。ピットインでした。燃料ラインの故障のようでした。メカニックもドライバーも一番眠い時間なのに頑張って対処してくれました。まわりは何のトラブルもなく快調に周回を重ねているようです。順位は39位まで落ちてしまいました。しかしその後は全く順調でした。スタートから11時間経過時点で34位(クラス8位)、13時間経過で33位、18時間経過で31位(クラス6位)。少しずつですが順位を上げて行きます。しかしペースを上げることが出来ません。ペースダウンのサインボードがドライバーには不意だったと思います。しかしあの時点ではそうすることしか考えられなかったと思います。完走するための手段でした。そして20時間経過した頃からまわりのピットが忙しくなってきました。何かトラブルが多くなってきたようです。我々チームのランサーはペースダウンこそ続いています。22時間が経ちました。29位クラス5位まで上がってきました。残り2時間が長く長く感じられました。ピットロードに人垣が出来てきました。まもなくゴールです。あれほど待ち望んだチェッカーが見えた時、忘れかけていた感動がこみ上げてきました。これまで多くの方々から力添えやアドバイスをいただきながらやってきた事を無駄にしてはならないと、必死で頑張ってきたことに良かったと思います。「なせばなる」皆さんもチャレンジ精神を持って前進して下さい。結果は努力に必ずついてくるものと確信いたしました。CMSC帯広の方々には温かい声援をかけていただき有難うございました。また山形三菱をはじめスポンサーしていただいた企業の方々には失礼ではありますがこの誌面をお借りして厚くお礼申し上げます。本当に有難うございました。

今回は11月3日スポーツランドSUGOで行われる最終戦に参戦を予定しています。表彰台目指して



頑張りますので、また応援宜しくお願いします。

# 貴重な体験の3日間

位になると言われ気合いを入れて行きましたが、富士の火山灰の台地は走るのも大変。オリエンテーリングをやるのは初めての私にとって思った以上につらいものとなってしまいました。1日目を終わって自分自身の体力の無さを痛感させられてしまう結果となりました。

2日目は早朝より体力審査のランニング、腕立て伏せ。朝食後メカニカル審査、昼食後ドライビング審査、車両メンテナンスと本当に休む間もなく次々にメニューを消化。この頃になると順位を考えるよりも、皆に遅れない事を考えるようになりました。つらい1日でしたが最後に予定にはありませんでしたがお風呂に入ることができ、皆一時、選考会の緊張から解放されました。でも選考会はそんなに甘くはなく、2日目のメニューが終わり皆が寝静まったその時、いきなり集合の号令。作業の出来るようにつなぎ着用との事でしたが、中にはトレーナー姿の人も。作業服、軍手、懐中電灯の確認をされ、次の指示はサービスカーがスタックしているのでけん引

用の車両を持って現場に行くというものでしたが、けん引用車両がいきなりエンジン始動せず、車両修理とスタック現場にとそれぞれ分かれ、私はスタック現場へと向かいました。現場に到着しスタック車両を確認、皆で力を合わせて脱出に成功。この時点でけん引用車両はまだ現場に到着していませんでした。帰るとけん引用車両はエンジン不始動の他にタイヤもパンクしており、手動ポンプでタイヤに空気を入れているところでした。

最後の日、朝起きると体のあちこちがきしんでいました。最後の総合審査も無事に終了、後は結果待ち。結果は残念ながら不合格でした。しかしこの3日間非常に貴重な体験が出来ました。合格された5名の方々を応援し、我々の分まで頑張っていたが、無事にラリーが成功することを願わずにはられません。そしてこの選考会の為に準備されたスタッフの方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。



# 鎌田豊選手(CMSC道北)、早くも全日本ラリーBクラスシリーズチャンピオンを決める!

'94全日本ラリー選手権第6戦「ひえつき'94夏」が宮崎県の椎葉村で7月23日(土)~24日(日)に開催されました。鎌田選手はミラージュMIVECでBクラスに出場。26台が出走してこのクラスは今季のチャンピオンを占ううえでの重要な戦い。すでに今季2勝をしているベテランの鎌田選手は優勝の最有力候補。シリーズ2位につけていた長谷川選手が不参加とあって優勝ならば無条件で、それ以外でもライバルの成績次第ではシリーズチャンピオンが決定します。

第1ステージ、第2ステージと無難にクリア。2秒差を保ったまま第3ステージへ。ところが22CPで思わぬ減点。その結果、田口選手に勝ちを譲り2位に甘んじることになりましたがBクラスのシリーズチャンピオンが決定しました。  
鎌田選手は昨年度シリーズ2位の実力派。経験と実績を積み重ねてのチャンピオン獲得です。8月からCMSC19番目の支部となった「CMSC道北」の会長に就任しました。支部にとっても幸先の良いニュースとなりました。



## CMSC道北誕生

CMSC各支部の皆様、はじめまして。この度、沢山の方々の御支援のもと19番目の支部として発足することが出来ました、CMSC道北です。道北という地名は私たちの地元において、北海道の中心旭川市以北の広域な地域を指し、文字通り日本の最北端のクラブです。代表者は鎌田豊というこれまた北

海道らしい?人物です。  
クラブ員は総勢23名でラリー、ダートトライアル、ジムカーナとなんでもコイの、人数の割に戦力のそろったクラブであると自負致しております。また'94年度より地元ディーラーである道北三菱自動車販売株さんの強力なバックアップによりミラージュを競技車として選ぶ方が増え続けており、これに伴いクラブ員、三菱ファンの増大がより一層

期待できる状況です。  
今後は競技会でより良い成績を目指すことはもちろん、この広大な地域性を活かした競技会の主催等、伝統あるCMSCの名に恥じぬよう、積極的な活動を展開して行きたいと考えております。各支部の皆様、何卒ご指導の程よろしくお願い致します。  
(CMSC道北 栗澤 傑)

CMSC帯広 8月14日  
真夏の大会練習会

去る8月14日、ダートシーズンも半ばを過ぎたところで各自テクニックや車両のセッティングを再チェックしようと、チーム員の親睦も兼ねて練習会を行いました。  
全国的な猛暑、水不足は帯広も例外ではなく連日30度を越す暑い日が続いていましたが、練習会前日

## シーズン後半へ向け熱心な練習

より降りだした雨は当日になっても降り止まず、あいにくのヘビーウェットコンディションとなっていました。しかし、墓参りもそこそこに集まったチーム員は雨にも負けず泥にも負けず、シーズン後半に向けて熱心に練習走行を繰り返しました。練習会の後は恒例のジンギスカンを食べながらの反省会(けなし合い?)で盛り上がり、今後の健闘を誓い合いました。  
今年には競技会の開催は行わず積極的に他の競技会へ参加することにしていますので、少しでも良い成



績がおさめられるようチーム員一同頑張ってください。秋には締めくくりに練習会も予定しており、1年の総決算でまた大いに盛り上がりたと思います。  
(CMSC帯広 中村 洋次)

## 帯広依然トップ。上位4チームは混戦。

'94チャレンジカップ

トップの帯広を強豪山形が追いつけています。また群馬、岐阜もポイントを抑えて激戦模様。後半戦の争いが興味津々です。個人部門はレース部門で福田選手が同じ山形 小川選手の連覇阻止の勢いです。

●クラブ別獲得ポイント						●ラリー・ドライバー部門		●ラリー・ナビゲーター部門		●ダートトライアル部門		●ジムカーナ部門		●レース部門			
	1-5月	6-8月	9-11月	12月	合計												
帯広	800	454.5			1254.5	小林 康弘	帯広	183	伊吹 浩明	帯広	253.5	荒井 信介	群馬	349	福田 光一	山形	93
山形	403	733			1136	勅使川原光	千葉	104	坂田 真一	愛知	34	大井 こそゑ	群馬	329	小川 日出生	山形	41
群馬	621	395			1016	奴田原文雄	札幌	78	加藤 徹	岩手	32	高竹 優之	香川	326	高橋 滋	仙台	17
岐阜	465	502			967	渡辺 俊昭	山形	76	遠藤 昇	仙台	27	柳田 正文	岐阜	316	小出 辰彦	愛知	15
香川	304	476			780	鷺見 宏康	岐阜	62	生井 史枝	帯広	20	小出 久美子	大阪	284	川口 法行	栃木	15
大阪	347	164			511	丹羽 浩道	千葉	43	神高 浩	香川	20	針田 信夫	岐阜	274			
広島	262	245			507	岩根 つもる	広島	40	伊藤 順子	岐阜	19	赤羽 政幸	山形	270			
島根	226	172			398	福本 光志	帯広	37	中村 洋次	帯広	18	鈴木 功敏	山形	244			
浜松	0	365			365	西沢 重人	札幌	36	芦中 広勝	帯広	17	岩根 つもる	広島	228			
札幌	158	200			358	松井 孝夫	愛知	34	青木 功	栃木	16	青沼 達也	帯広	221			
福島	342				342												
岩手	94	222			316												
青森	282				282												
千葉	87	95			182												
仙台	98	54			152												
愛知	122	6			128												
栃木	34	31			65												
埼玉	13				13												
道北	-				0												